

魚津市定例記者会見 2月

日時：平成27年1月30日（金） 午後1時30分～

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、富山テレビ、
KNB、NHK、NICE TV

市当局出席者：市長、副市長、企画総務部長、産業建設部長、民生部長、
教育委員会次長、企画政策課長

1. 市長からの説明事項（※各担当部長から説明）

(1) 魚津市まちづくりアンケート（転出者アンケート）の実施

かねてから人口対策推進本部で取り組みを決めていたが、喫緊の課題である人口減少への対策をいかに具体化していくかということで、2月から半年間、市民課で転出の手続きをした方にアンケートをお願いし、市外への転出（社会動態）の事由を明らかにしていきたいと思っている。以前も平成15年10月から1年間実施したことがある。住み続けたい、あるいは住んでみたいまちについても尋ね、アンケートの集計結果をこれからの定住対策に活用したい。

(2) 「おもてなし魚津」直行便（予約式あいのりタクシー）

北陸新幹線開業を控え、黒部宇奈月温泉駅から魚津市内へ予約式のタクシーで送迎するもの。料金は1人1,000円。魚津駅と黒部宇奈月温泉駅とを結ぶ公共交通手段は富山地方鉄道があるが、接続がなかなか難しい面もあるかと思われる。このタクシーは施設と駅とを直接結ぶので雨や雪の時でも、また高齢者にも利用しやすいのではないか。東京方面からのビジネスマンにとってもホテルへ直行できるというのが便利。これからどんどんPRしていく。

(3) 平成26年度 除排雪状況

1/21に除排雪経費の補正予算1億7,600万円を専決した。12月によく雪が降ったこともあり今日（1/30）現在まで29回機械除雪が出動、うち11回は市内全域で経費は約8,700万円となった。今後の降雪予測はなかなか難しいが、平成17年の降雪パターンとよく似ており、これを参考に今後の除排雪経費を見込んだ。

2. 質疑応答での市からの説明内容

「おもてなし魚津直行便について」

《記者からの質問》

「おもてなし魚津直行便」への期待は？実験運行の状況を見て調整などはされるのか？予約はいつからできるのか？

《回答》

どのくらいの人が黒部宇奈月温泉駅を利用するのか読みにくく、お客さん待ちのタクシーが駅に常時いるわけでもないので、手軽な料金のこの予約式タクシーをぜひ利用してほしい。忙しくなることを期待している。

普通にタクシーを利用すると、魚津駅から黒部宇奈月温泉駅まで片道3～4千円かかるところをこの予約式タクシーなら千円で済む。富山地方鉄道の料金よりは高いが荷物を運ぶにもラクで歩く距離も短いのでぜひ利用してほしい。予約は出発の2時間前までなので、急に東京から魚津へというケースでも、新幹線に乗る前に予約すればタクシーを利用できる。

季節によって利用者数に変化があるだろうし、将来的には見直しが必要だろうがとりあえずこのスケジュールでスタートする。

予約開始は、2月中旬頃（開業約1か月前）を予定している。

《記者からの質問》

予約がなければ運行しないのか？既定の便以外に要望があれば運行するのか？

《回答》

予約制なので、乗客がなければ運行しない。既定の便以外は運行しない。

《記者からの質問》

黒部宇奈月温泉駅に停まるすべての列車に対応しているのか？

《回答》

すべての列車に対応している。

《記者からの質問》

1日あたりの利用者数見込みは？

《回答》

これまで魚津駅で乗降していた人達が黒部宇奈月温泉駅と富山駅とに分散することが予想されるが、数がどうなるかは分からない。

《記者からの質問》

新川地域の他市町の（黒部宇奈月温泉駅との交通手段の）対応は？

《回答》

朝日町、入善町はバスがあると聞いている。魚津市では富山地方鉄道も利用できるが、電車を利用しづらい高齢者などにはこのタクシーを利用してもらうという体制にした。

《記者からの質問》

採算見込みは？

《回答》

予約が1人だけでも運行するが、この場合は赤字になる。多くの方に利用してもらえるよう、チラシの配布と各ホテルのホームページでPRもしていく。